

第四期中期目標（案）に対する評価委員会からの意見及び修正案について

【用語の説明について】

意見概要	市の考え方
「アントレプレナー」、「ガバナンス機能」、「DX」、「外部研究資金」、「外部資金」と出てくるが、不特定の市民に理解してもらうためには用語の説明を入れた方がいいのではないか。（木村委員長）	ご指摘を踏まえ一部の用語に対し意味を理解しやすいように文章を追加しました。
修正案（関係箇所抜粋）	
Ⅱ 大学の教育研究等の質の向上に関する目標 第 2 研究・産学官連携に関する目標 2 研究力強化 (1) 研究基盤等の強化 さらなる研究推進のため、魅力ある研究環境の充実や、多分野連携による研究推進体制の強化、計画的な資金活用、多様な手段での外部研究資金（<u>国や企業等から受け入れる研究資金</u>）の獲得などに取り組む。 3 産学官連携・イノベーションの創出 (2) 産学官連携によるイノベーションの創出 産学官連携を活かし、知的財産の活用の活性化、アントレプレナー（<u>起業家</u>）支援及び大学発スタートアップの支援の強化に取り組むことで、研究成果の効果的な社会還元を図り、イノベーションの創出を推進する。 Ⅲ 法人運営に関する目標 第 1 業務運営の改善及び効率化に関する目標 1 組織体制の整備・強化及び人事制度改革等 さらなる法人の発展をめざしガバナンス機能（<u>理事長・学長のリーダーシップによる学内組織の運営・連携体制の整備等</u>）の強化を図ることで、組織の不断の見直しを行うなど体制の整備・強化を図り、社会の変化に柔軟に適應できる組織運営を行う。また、法人運営の核となる職員の能力やモチベーション向上を図り、とりわけ固有職員の採用・育成を推進し、一人ひとりが能力を最大限に発揮できるよう、人事制度の改革や人材育成の強化に取り組む。 2 DXの推進 教育・研究・医療等を業務の効率化や高度化によって推進・活性化するため、法人全体でDX（<u>デジタル・トランスフォーメーション</u>）を推進する。 第 2 財務内容の改善に関する目標 1 多様な財源の確保 自律的で持続可能な経営基盤を確立するため、法人運営に必要な自己収入の増加や外部資金（<u>外部研究資金及び寄附金等</u>）の積極的な獲得などによって自主財源を確保する。また、大学の管理する資金について、安全性及び流動性を確保した上で効率的な運用を図る。	

【大学像について】

意見概要	市の考え方
前文の第3パラグラフに「学生や研究者に選ばれ、世界をリードする魅力ある大学をめざす」とあるが、本文の基本事項の「第1 めざす大学像」では「全ての市民が誇りに思い、愛着を持てる大学」となっている。 大学としてめざすものが分かりにくいため、市が重要と考える方に統一してはどうか。（木村委員長）	前文の第3パラグラフについては、第四期において市立大学が取り組み、めざすべき内容を記載しており、本文の「I 基本事項」にある「第1 めざす大学像」については、市立大学の運営における基本的な考え方を示すものとして記載しております。 ご指摘のとおり現在の記載の仕方ではそれぞれの違いが分かりにくいこと、また、前文の第2パラグラフにも「第1 めざす大学像」と同様の記載があることから、本文の「第1 めざす大学像」を削除するとともに、記載内容に合わせて大事項である「I」を修正しました。
修正案（関係箇所抜粋）	
I 基本事項 <u>中期目標の期間及び教育研究上の基本組織</u> 第1 めざす大学像 全ての市民が誇りに思い、愛着を持てる大学 第 <u>21</u> 中期目標の期間 第 <u>32</u> 教育研究上の基本組織	